

2014年5月20日
NTTナレッジ・スクウェア株式会社
一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会

**MOOCサイト「gacco(ガッコ)」の会員数が5万人を突破し、
東大本郷先生の講座受講者数は2万人に到達
～ サイト開設より3か月で達成 ～**

NTTナレッジ・スクウェア株式会社(以下ナレッジ・スクウェア)と株式会社NTTドコモ(以下ドコモ)が共同で推進する、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会(以下JMOC)公認の、日本初の大規模公開オンライン講座(MOOC^{*1})提供サイト「gacco(ガッコ)」(<http://gacco.org/>)の会員数が2014年4月26日に5万人を突破し、東京大学 本郷和人 教授「日本中世の自由と平等」講座の受講者数が2万人となりました。(同講座の受講者募集は5月18日に終了)

「gacco(ガッコ)」は、大学教授陣による本格的な講義を、誰もがオンラインで無料受講できるサイトとして、2014年2月3日に開設されました。これまでに、2講座(東京大学 本郷和人 教授、慶應義塾大学 村井純 教授)が開講され、現時点で受講生を募集している講座は4講座(慶應義塾大学 村井純 教授、早稲田大学 栗崎周平 准教授、北海道大学 重田勝介 准教授、グロービス経営大学院 荒木博行 教授等)となっております。

「gacco(ガッコ)」における第一弾講座として4月14日に開講した東京大学 本郷和人 教授の講座には、2万名が受講登録しました。米国を中心に英語で提供される「グローバル MOOC」である edX が開設初年度に獲得した1講座あたりの平均受講者数が5.3万人である^{*2}ことと比較しても、日本を中心とした「地域 MOOC」である gacco の講座が、当初の目標(1講座あたり5千人程度の受講者獲得)を大きく上回る2万人の受講者を獲得できたことは重要な意味を持ちます。

また、同講座では、世界初の試みとして、オンラインで学習した内容をもとに対面で発展的な講義を行う「反転学習コース」が提供されました。同コースでは、東京大学において対面授業が4月26日および5月10日に開催され、13歳から81歳までの約90名が全国から参加しました。対面授業では、オンラインでの予習を前提とした高度なディスカッションが行われ、世代の異なる参加者同士が積極的に意見交換するなど、参加者はMOOCを活用した新しい学びを体験することができました。



「gacco」を提供するドコモ、ナレッジ・スクウェアは、今後もJMOOCと連携し、MOOCの普及・推進に取り組んでまいります。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

NTTナレッジ・スクウェア 有本、大谷 TEL: 03-3456-8111
日本オープンオンライン教育推進協議会 事務局 TEL: 03-3295-3555

※1 MOOC : **M**assive **O**pen **O**nline **C**oursesの略。Web上で誰でも無料で参加可能な、大規模かつオープンな講義を提供し、修了者に対して修了証を発行する教育サービス。2012年より米国を中心として、主要大学および有名教授によるオープンオンライン講座として公開され、世界中から1000万人以上が受講している。

※2 Ho, A. D., Reich, J., Nesterko, S., Seaton, D. T., Mullaney, T., Waldo, J., & Chuang, I. (2014). HarvardX and MITx: The first year of open online courses (HarvardX and MITx Working Paper No. 1).の Table2 より引用。2012 年秋から 2013 年夏までの HarvardX と MITx の一講座当たりの平均受講登録数は 52,605 人。

<参考>

1. 東京大学 本郷和人 教授の講座では、国内の MOOC としては初めて、受講者同士が自主的に集まって開催する勉強会(ミートアップ)も都内で開催されました。(出所: Facebook JMOOC ページより)



2. 同講座の最終課題レポートを提出した受講者からは、「最終課題レポートを提出し、充実した気持ちに浸っている」「日常の雑事から離れて、講義を視聴する時間は、得難い至福の時間だった」「海外に住んでいるが、日本の大学の講義を受けることが出来て感謝」「講義が終了してしまい残念、また受講したい」といった声が寄せられています。